

史 泉

第一二二二号

△追悼▽	泉澄一先生の御逝去を悼む	原田 正俊	(1)
△論文▽	分家大名が本家大名に果たした役割	藤尾 隆志	(4)
	——鴨方池田家池田政倚を事例に——		
	ジョン王とその支持者たち	安黒 翔太	(1)
	——パトロネジの分析を中心に——		
△研究ノート▽	唐初における鮮卑系官人の諸相	会田 大輔・齊藤 茂雄	(21)
	——和泉市久保物記念美術館所蔵墓誌を中心に——		
	清朝乾隆時代北京崇文地域の宗教建築の分布と景観	張 旭	(34)
	——「乾隆京城全図」の分析から——		
△資料▽	慶長の役における巨済島海戦に関する豊臣秀吉発給文書について	三好 俊	(34)
	二〇一四年度史学・地理学関係優秀卒業論文要旨		
	会員の発表論文目録		(45)
	会員の博士論文題目		(48)

SHISEN

Historical & Geographical Studies
in
KANSAI UNIVERSITY

VOL. CXXII

Jul. 2015

Contents

Eulogy

Commemorating Prof. Emeritus IZUMI ChouichiHARADA Masatoshi (1)

Articles

Role of an Ikeda Branch Daimyo Family to the Head Family
shown in Documents of IKEDA Masayori,
Head of Kamogata Ikeda FamilyFUJIO Takashi (4)

King John and His Friends :
Analysis of Political PatronageAGURO Shota (1)

Notes

The Aspects of Bureaucracy from Xianbei 鮮卑 during Early Tang Era :
On the Epitaphs owned by Kuboso Memorial Museum
of Arts, IzumiAIDA Daisuke, SAITO Shigeo (21)

Distributions across Landscapes of Religious Architectures
in Chongwen Division Beijing during the Qianlong Period
of Qing Dynasty using the Qianlong Keijo MapZHANG XU (34)

Material

The Letter from Toyotomi Hideyoshi about the Naval battle
of Geojedo in Keityo WarMIYOSHI Shun (34)

Miscellaneous

The Historical & Geographical Society
of
KANSAI UNIVERSITY
Osaka, Japan

『史泉』投稿規定

一、種類と枚数

論文六〇枚以内、研究ノート、史料紹介、学界動向四〇枚以内、書評二〇枚以内、紹介五枚以内（いずれも注、図、表、写真などを合わせて四〇〇字詰換算）

二、留意事項

①原稿はワード・プロセッサ原稿（完成原稿）でご提出下さい。詳しくは一〇六号の「電子媒体での執筆要項」をご覧ください。

(1)印字原稿とファイルを取めた記録媒体ともにご提出下さい。掲載の場はいずれも返却しませんので、印字原稿、記録媒体内のファイルいずれもコピーを取って置いて下さい。

(2)印字原稿

○A4サイズの無地紙を使用して下さい。原稿用紙には印字しないで下さい。

○一ページあたり一二〇〇字を目安に、縦組みの場合は原稿も必ず縦書きで、横組みの場合は原稿も必ず横書きで印字して下さい。また上下左右に十分な余白を取って下さい（各三センチメートル以上）。

(3)記録媒体

記録媒体は一般的に広く利用されている媒体をご利用下さい。「発表論文目録」はできるだけ左記のメールアドレスにテキストファイルでお送り下さい。また、外部に執筆者氏名、ファイル名及び使用ソフト名を書き添えて下さい。本号掲載の「会員発表論文目録」の電子メールでの書式についてを御参照下さい。

②やむを得ず手書き原稿となる場合は、四〇〇字詰または二〇〇字詰原稿用紙を利用し、完成原稿でご投稿下さい。必ず原稿のコピーをお手もとにおいて下さい。

③図、表、写真などの掲載にあたっては実費を頂くことがあります。また、原則として折り込みは行いません。

④投稿の際には、「投稿申込書」に必要事項を記入して添えて下さい。

三、採否等

①『史泉』に投稿された論文・研究ノートの採否については、審査員の査読を経て、編集委員会において決定します。審査員については、別に定めます（注：この規定は一〇九号より適用します）。

②掲載原稿は返却しません。

③論文、研究ノート、史料紹介、学界動向、書評の執筆者には抜刷を三〇部進呈します。それを超える分については実費となります。

四、原稿の締切

三月末日及び九月末日です。なお、『史泉』の刊行は年二回（七月末日、一月末日）です。

五、原稿の提出先及び「投稿申込書」請求先

関西大学文学部総合人文学科 歴史学・地理学系合同研究室

〒五六四―八六八〇 大阪府吹田市山手町三十一―三五

電話 〇六一―六三六八―〇三二五 電子メール shichi@cm.kansai-u.ac.jp

お知らせとお願い

一、第一一八号から投稿規定を一部改定し、「紹介」の枚数を五枚以内と改めました。新しい投稿規定を本号に掲載しておりますのでご確認ください。

二、本誌の原稿締切日は三月末日及び九月末日、刊行日は七月末日及び一月末です。次号（第一二三号）の原稿締切日は二〇一五年九月末日、刊行日は二〇一六年一月末日となります。ふるってご投稿ください。

三、本誌に「会員の発表論文目録」を掲載しております。会員の皆様の発表論文等を当会宛にお知らせください。次号（第一二三号）では二〇一五年四月から十月までに発表された論文などが掲載対象となります。なお、お知らせいただく際には、実際の掲載例を参考にしてください。書誌情報に遺漏のないようお願いいたします。shichi@cm.kansai-u.ac.jp宛に電子メールにてお送りください。

四、今後会員の博士論文題目を随時掲載いたします。今年度以降博士号を取得された方は、氏名・博士論文題目・博士号取得機関・取得年月日をshichi@cm.kansai-u.ac.jp宛に電子メールにてお知らせください。

本号編集委員（※編集責任者）

西本 昌弘 森部 豊 芝井 敬司 ※木庭 元晴
橘 悠太 岡本 優紀 高岡佐登美 齋藤 鮎子

編集後記

『史泉』第一二二号をお届けいたします。本号では、本学で教鞭を執られました泉澄一名誉教授の追悼文を掲載しております。先生は第一四回小山富士夫記念賞を受賞されるなど多くの功績を残され、史学・地理学会の発展にご尽力されました。関西大学史学・地理学会の今日は、多くの先達の先生方によって築き上げられたと改めて感じた次第です。

ならびに本号には各分野から、論文二編、研究ノート二編、資料一編、二〇一四年優秀論文要旨、会員の発表論文目録、会員の博士論文題目を掲載しております。

『史泉』編集部では、皆様の研究成果のご寄稿を心よりお待ちしております。（齋藤）

史 泉 第一二二号

二〇一五年七月三十一日発行

〒564-8680 大阪府吹田市山手町三―三―三五

関西大学文学部総合人文学科

歴史学・地理学系合同研究室

編集兼 発行者 関西大学史学・地理学会

振替 〇〇九七〇―七―二六〇一六

電話（〇六）六三六八―〇三二五

〒615-0052 京都市右京区西院清水町一三

印刷者 協和印刷株式会社

電話（〇七五）三二二―四〇一〇